

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)7月25日 No.1199

目次

インタビュー	
ロシア向け制度金融の現状と課題	1
隈部兼作・国際協力銀行国際金融第2部部長	
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	7
2001年度日ロ経済専門家会議実施のお知らせと参加のご案内	7

インタビュー

ロシア向け制度金融の現状と課題

隈部兼作・国際協力銀行国際金融第2部部長

はじめに ロシア金融危機から3年が経過し、同国ではプーチン大統領のもと構造改革の努力が続けられており、経済パフォーマンスも現時点では好調に推移している。しかし、ロシア向けの輸出については、やはりまだ公的信用に依存するところが大きいのが実情であろう。こうしたなか、かつて日本輸出入銀行(現国際協力銀行、JBIC)が表明した対ロ12億ドル輸出信用枠を利用したプロジェクトのうち、長らく宙に浮いていたヤロスラヴリ製油所の案件がようやく全面解決をみたというニュースが最近報じられた。

ロシア向け融資の問題は何か。JBICはロシア向けの融資にどのような方針で臨んでいるのか。昨年までJBICのモスクワ駐在員事務所首席を務められ、この6月に国際金融第2部の部長に就任された隈部兼作さんにお話をうかがった(2001年7月18日、都内にて)。

なお、当研究所発行の『ロシア東欧貿易調査月報』では「ロシア経済危機から3年」と題する特集号の刊行を予定している。特集号の主な内容については、次頁の告知を参照されたい。今回のインタビューの様相もこの特集号でより詳しくお伝えする予定である。